

## 仕様書

### 1. 業務名

令和5年度「EBPM ポータル構築に向けた調査・分析」

### 2. 業務目的

独立行政法人経済産業研究所（以下「RIETI」という。）では、経済産業省が「経済産業政策の新機軸」の考え方の下で取り組んでいる新しい産業政策についての効果検証に対応するため、2022年4月1日にRIETI EBPM センター（以下「EBPM センター」という。）を立ち上げた。EBPM センターでは、大規模・長期・計画的支援を行うミッション志向の産業政策の効果検証を行うため、政策当局に対しロジックモデルの策定や分析のためのデータ・デザイン等に関するアドバイスを伴走型で行っているところである。

こうした取組に加え、政策担当者の間では担当政策に関連する分野の先行研究や先行事例等のEBPM に有用な情報（エビデンス）を一元的に参照・検索できるようなサービスへのニーズが高いことを踏まえ、経済産業省をはじめとする政策当局におけるEBPM の取組の全般的な底上げに向けて、EBPM センターにおいてEBPM ポータルサイト（以下「EBPM ポータル」という。）の構築を行う予定である。

EBPM ポータルでは、国内外の政策の効果検証に関する論文や他の行政機関等の分析事例に関する情報に加え、分野別に先行研究等を取りまとめたサーベイやシステマティック・レビュー等も一元的に集約し、それぞれに日本語の要約を付して簡単に検索・閲覧できるようにすることで、政策担当者がEBPM の取組のために必要とする情報やエビデンス等を分かりやすい形で提供し、政策立案及び政策の効果検証の場で活用されることを目指している。

本委託事業では、上記の背景及び目的を踏まえてEBPM ポータルのコンテンツ作成のための調査・分析を行うことを目的とする。なお、ウェブサイト等のシステム構築については本委託事業の対象外である（今年度中に別途調達予定）。

### 3. 調査内容

#### （1）論文の検索性向上に向けた取組

EBPM ポータルにおいては、将来的には既存の論文データベースから機械的にEBPM 論文を抽出してくるような仕組みも検討している。そのため本委託事業においては、世の中に数ある論文の中からEBPM 論文のみを効果的・効率的に検索するための手法を検討し、EBPM ポータルへの論文検索機能搭載の案を作成する。具体的には以下①～④の取組を中心に検討しそれらの検討結果を盛り込んだ案とすること。

（応札に当たっての企画案においては、よりよい提案であることを示す根拠として、検討の手法や活用可能な知見などを説明すること。特に②については、考えられる手法の候補と実際に効果的で導入可能なものか検証するために必要となる作業やその他の手法

を探索するための方法等についてできる限り言及すること。)

- ① EBPM 論文に特徴的に使われているキーワードを特定し、既存の論文データベースの中から経済産業政策に関わりの深い分野<sup>1</sup>の EBPM 論文のみを検索・抽出するための条件（検索ワード等）を特定する。
- ② 3.（1）①で特定した条件を用いて検索する際、真に必要なとする EBPM 論文のみがヒットするような手法を特定する<sup>2</sup>。
- ③ 3.（1）①及び②で検討した手法の有効性を確認するため、3.（2）①で収集する EBPM 論文や、RIETI の過去のディスカッションペーパー（DP）等の中から RIETI が既に特定している EBPM 論文リスト<sup>3</sup>も活用し、手法による検索結果との突合作業を行う。
- ④ 将来的な EBPM 論文の検索高度化のため、既存の論文データベースの中から検索対象として使用すべきデータベースの候補（一覧）とその利点や課題を整理した資料を作成する。

## （2）先行研究の収集及び日本語要約の作成

- ① 国内及び海外における政策の効果検証に関する論文（特定の政策の効果を何らかの経済学的手法を用いて検証・分析したもの。以下「EBPM 論文」という。）を 200 本程度収集し、地域や分野、分析手法等により体系的に整理する。
- ② 国内及び海外の行政機関（地方自治体を含む）や研究所・シンクタンク等が過去に実施した政策の効果検証事例（論文化されていないレポートや報告書等も含む。以降、「EBPM 事例」という。）について、国内で 10 事例程度、海外で 30 事例程度を収集し、実施主体や地域、分野、分析手法等により体系的に整理する。

※上記 3.（2）①及び②について、文献の言語は日本語あるいは英語とし、海外は米国及び欧州の文献を中心に収集することとする。分野については、経済産業政策に関わりの深い分野の中から政策ニーズが高い分野や既存研究が豊富な分野を中心に RIETI と相談の上で決定することとする。

- ③ 上記 3.（2）①及び②で収集した EBPM 論文及び EBPM 事例のうち、英語の論文・事例については全て日本語の要約を作成する。

---

<sup>1</sup> 経済産業省の政策に関連する分野の意であり、産業政策のみならず、通商政策・対外経済政策、エネルギー・環境政策、中小企業政策、研究開発政策、IT 政策等を含む。以下同じ。経済産業省が使用している分類については、下記サイトも参考となる。

[https://www.meti.go.jp/policy/policy\\_management/seisaku\\_hyoka/2022/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/policy_management/seisaku_hyoka/2022/index.html)

<sup>2</sup> 手法の例としては、全文検索により特定のキーワードを含む論文を抽出する、タグ付けにより検索を可能にする等が考えられるが、先行研究を説明したパートや参考文献に現れるキーワードを除外すること等も重要な論点と考えられる。なお、提案されるべき手法については、この限りでない。

<sup>3</sup> RIETI では、最近のディスカッションペーパー等については中身を踏まえて EBPM に該当するか否かを判断し、EBPM に該当すると判断したものについてはホームページ（<https://www.rieti.go.jp/jp/projects/ebpm/index.html>）に掲載している（2022 年度分についても追って掲載予定）。

※日本語要約の作成にあたり、執筆者が提供する要約（論文の Abstract 部分等）を活用しても良いが、政策担当者が読むことを想定して箇条書きで要点をまとめる等、簡潔で分かりやすい内容とすること。なお、知見やノウハウがある場合は AI（人工知能）を活用して要約作業を自動化することも検討し、有用である場合は採用してもよい。ただし、AI を活用する場合も内容の最終確認は人力で行うこと。

（応札に当たっての企画案においては、EBPM 論文、EBPM 事例の収集をどのように行うのか、英語論文・事例の要約の質をどのように確保するのかなどを説明すること。）

### （３）サーベイ論文の収集及び執筆

- ① 経済産業政策に関わりの深い分野について既存のサーベイ論文<sup>4</sup>を 20 本程度収集し、全てについてポイントをまとめた日本語の要約（抄訳）を作成する。要約は論文 1 本あたり A4 用紙 1 枚（1000 字程度）とし、政策担当者が読むことを想定して分かりやすい内容とすること。
- ② 経済産業政策に関わりの深い分野の中から 3 テーマ程度を選び、各テーマにおける代表的な論文の要約とそこから得られる示唆を簡潔にまとめたサーベイ論文を日本語で執筆する。成果物は 1 テーマにつき A4 用紙 1 ～ 2 枚程度（2000 字以内程度）とする。執筆にあたっては、単に既存研究の紹介にとどまることなく、政策へのインプリケーション等の政策担当者の実務に直接役立つような分析も含めたものとする。

※（３）①及び②で収集及び執筆するサーベイ論文の対象分野及びテーマについては、政策ニーズが高い分野を中心に RIETI と相談の上で決定することとする。例えば下記のようなテーマが考えられるが、これに限らない。

（テーマの例）

- 企業の生産性（補助金あるいは研究開発税制による影響等）
- 人材（労働の流動性、リスクリングの効果等）
- デジタル（中小企業の IT 化や大企業も含めた DX 支援の成果等）
- 対外経済（米中対立が半導体サプライチェーンに与える影響やロシア制裁の影響といった経済安全保障上の視点も含む）
- エネルギー・環境（電力市場・エネルギー価格の影響、ESG 投資と企業価値等）

---

<sup>4</sup> EMF ポータルによれば、「サーベイ」とは「特定のテーマ、技術、問題に関する全般的情報を提供する概観的な論文」とされている（<https://www.emf-portal.org/ja/glossary/3269>）。本委託事業においては、特定の政策分野や政策課題に関する既存研究を概観できるようなレポートを指す。アウトプットイメージとしては、RIETI ホームページ（[https://www.rieti.go.jp/jp/special/ebpm\\_report/](https://www.rieti.go.jp/jp/special/ebpm_report/)）に掲載されているようなものを想定。

(応札に当たっての企画案においては、サーベイ論文の収集をどのように行うのか、その各サーベイ論文の要約や新たに執筆するサーベイ論文の質をどのように確保するのかなどを説明すること。)

#### (4) システマティック・レビューの作成

経済産業政策に関わりの深い分野の中から1テーマを選び、システマティック・レビュー<sup>5</sup>を日本語で作成する。対象分野及びテーマについては、政策ニーズが高い分野を中心に RIETI と相談の上で決定することとする。成果物は A4 用紙 40～50 枚程度とし、概要をまとめたサマリー (A4 用紙 2～3 枚程度) も別途作成すること。

(応札に当たっての企画案においては、新たに執筆するシステマティック・レビューの質をどのように確保するのかなどを説明すること。)

#### (5) 統計・データに関する調査

経済産業政策に関わりの深い分野の EBPM に活用できると考えられる既存の公的統計や民間統計、データ等をリストアップし、データ項目やサンプル数、調査方法、回収率、更新頻度、実経済とデータとの遅延度合い、利用料金、実際に利用した分析事例等の項目を調査し体系的に整理する。

(応札に当たっての企画案においては、調査の手法などを説明すること。)

#### (6) 国内有識者及び経済産業省へのヒアリング

- ① 上記3.(1)～(5)の取組に関して専門家の意見を踏まえた検討を行うため、国内の有識者等10名以上に対してヒアリングを実施する(オンライン可)。ヒアリング先は RIETI のプログラムディレクター<sup>6</sup>等を中心に RIETI と相談のうえで決定することとするが、事業者のネットワークを活用した提案も歓迎する。
- ② EBPM ポータルの利用者として想定される政策担当者のニーズをより詳細に把握して仕様に生かすため、経済産業省へのヒアリングを実施する(オンライン可、計10回以上)。ヒアリング先は RIETI と相談の上で決定することとする。なお、ヒアリング先は同じ課室に複数回行ってもよいが、ヒアリング結果をできるだけ本委託事業にも反映させるため、第1回のヒアリングは可能な限り早期に実施すること。

---

<sup>5</sup> 日本疫学会によれば、「システマティック・レビュー」とは、「明確に作られたクエスションに対し、系統的で明示的な方法を用いて、適切な研究を同定、選択、評価を行なうことで作成するレビューを言う」とされている

(<https://jeaweb.jp/glossary/glossary010.html>)。本委託調査においては、特定のテーマや課題に関する文献をくまなく調査し体系的に分析することで、その分野における既存のエビデンスを洗い出すことを指す。具体的な手法や成果物のイメージについては以下を参照のこと。

(手法について) [https://www.rieti.go.jp/jp/special/ebpm\\_report/010.html](https://www.rieti.go.jp/jp/special/ebpm_report/010.html)

(成果物イメージ) <https://whatworksgrowth.org/resource-library/access-to-finance/>

<sup>6</sup> RIETI では、研究テーマ毎にプログラムディレクターを配置している

([https://www.rieti.go.jp/jp/projects/program\\_2020/index.html](https://www.rieti.go.jp/jp/projects/program_2020/index.html))。

③ 上記 3. (6) ①及び②のヒアリングで得られた意見等について、本仕様書の定める範囲において対応可能な内容については適時作業に盛り込むこととし、本仕様書の定める範囲を超えているものについては今後の検討課題として取りまとめること。  
(応札に当たっての企画案においては、ヒアリング実施者の知見、経験などとともに、ヒアリングで聴取したい内容(本件調査を実施するために有効な情報を聴取するために行いたい質問内容)などを説明すること。)

#### (7) 取りまとめ及び次年度以降の課題と拡張可能性に関する提案の作成

- ① 3. (1) ~ (6) の調査結果を踏まえ、EBPM ポータルとして搭載すべきコンテンツや機能(ユーザーインターフェース、検索システム構築に当たっての論点を含む)等について取りまとめ、情報提供の方法や内容に関して具体的な提案を行う。
- ② 3. (7) ①の取りまとめの中で、政策担当者における EBPM 実務の推進に向けて次年度以降に検討すべき課題についても検討し、EBPM ポータルの拡張可能性も含めた提案を行う。

### 4. 調査方法

#### (1) 公開情報、文献調査

既存の論文データベースや行政機関、研究所・シンクタンク等が公開している情報をもとに調査を行う(有料の文献を含む)。

#### (2) ヒアリング調査

3. (6) に記載のとおり、有識者及び政策担当者へのヒアリングを実施する(オンライン可)。

### 5. 工程管理

#### (1) 定例打ち合わせ

RIETI との打ち合わせを定期的に(月に 1 ~ 2 回程度)行い、進捗状況の報告を行うとともに調査方針の確認・検討を行う。定例打ち合わせの議事録を作成し、RIETI に提出する。

#### (2) 中間整理

令和 5 年 1 1 月 3 0 日までに中間整理を提示する。なお、本委託事業とは別に EBPM ポータルのシステム構築を並行して進める予定であり、中間整理時点の情報をもとにプロトタイプ構築を行う予定であることを前提に、プロトタイプ構築に必要な情報を含んだ中間整理を行うこと。なお、プロトタイプは潜在的な利用者の一部が試用し、その結果についてユーザーヒアリングを実施する(3. (6) のヒアリングの範囲内)。ヒアリングの結果を踏まえた対応については、3. (6) ③に記載のとおり。

### 6. 報告書の作成

調査結果について整理した報告書を作成する。作成に当たっては、RIETI と協議の上、EBPM ポータルへの活用・掲載も念頭に利用しやすいようなフォーマット・内容とするように努め、契約終了日までに提出する。

#### 7. 事業期間及びスケジュール

委託契約締結日から令和 6 年 3 月 1 5 日までとする。契約終了日までに最終報告書を提出する。

#### 8. 納品物

調査報告書電子媒体（CD－R）1 式

調査報告書、調査で得られた元データを納品すること。これらは PDF 形式に加え、機械判読可能な形式のファイルも納品すること。

#### 9. 納品期限

令和 6 年 3 月 1 5 日

#### 1 0. 納品場所

独立行政法人経済産業研究所

東京都千代田区霞が関 1-3-1 経済産業省別館 11 階 1137 号室

研究グループ：平井、山口、桝潟

【参考】検討中の EBPM ポータルサイトのトップページ（イメージ）

※内容は全てイメージであり、本委託事業の調査内容を決定するものではない。

EBPM ポータルサイト

分野別に見る

経済成長

産業育成

産業セキュリティ

対外経済

中小企業・地域経済

環境/エネルギー

生活安全

論文の個別検索

キーワードを入力してください

政策実施主体

国内（省庁）

国内（自治体）

米国

その他海外

政策実施時期

最近（5 年以内）

5 年より前

研究等実施機関

RIETI

行政機関

大学等研究機関

分析手法

OLS

FE

IV

PSM

DID

RDD

RCT

CGE

時系列

大分類：経済産業政策

中分類を選択してください

小分類を選択してください

適用